

高圧酸素療法チャンバーには スウェージロック製品が使用されています。

高圧酸素療法 (HBOT) は長年にわたり、深海ダイバーの減圧症の治療に使用されてきましたが、現在では一酸化炭素中毒、重症の火傷、糖尿病性潰瘍など、さまざまな症状に利用できる治療法としても注目されています。

HBOT による治療が増えてきたことに伴い、病院はモバイル高圧チャンバーに期待を寄せています。モバイル・ユニットの開発により、2つの病院が1つのシステムを共有できるようになります。例えば、午前中に10人からなる2つのグループを病院Aで治療し、午後に別の10人からなる2つのグループを病院Bで治療することができます。

テキサス州オルニーにあるハイパー・テック社は、モバイル高圧チャンバーを初めて製造したメーカーであり、スウェージロック指定販売会社テキサス V & F の長年にわたるお客さまでもあります。モバイル HBOT ユニットは10人の患者用の高圧チャンバーで、一般的な96インチ・サイズのバン内にぴったり収まります。モバイル・ユニットには、Swagelok® コンポーネント—主に1/4インチ、1/2インチ、1インチ・サイズの真ちゅう製 Swagelok チューブ継手が使用されています。



1/4インチ・ラインは、分析器システムに接続され、チャンバーの奥行と一酸化炭素レベルを感知して、チャンバー・アテンダントによってモニターされます。

ハイパー・テック社のオーナーである Phil Janco 氏は、ユニットの装備にスウェージロックのコンポーネント以外を使用することは決して考えなかったと述べています。35年以上前にダイビング業界に入った Janco 氏が、最初に購入したスウェージロック製品はヘリウムの漏れない逆止弁でした。彼はスウェージロック製品の信頼性に加え、Swagelok ポート・コネクターとチューブ短管アダプターの汎用性にも感銘を受けました。さらに Janco 氏は、委託プログラムによるベンダー・マネージメント・インベントリーなど、テキサス V & F が提供するサービスも高く評価しています。しかし、一番重要なことは製品の信頼性であると述べています。

チャンバーの計装システムは、1/2インチ・サイズの真ちゅう製 Swagelok チューブ継手で構成されており、チャンバーに純酸素を供給するとともに、患者にも純酸素を直接供給します。チャンバーに入り、大気圧より高い圧力の純酸素を吸ってから12分以内に、酸素以外のすべてのガスが患者の体内から除去されます。これによって血中の酸素濃度が高まり、血行の促進や人体の治癒能力の向上などさまざまな利点をもたらされます。患者が息を吐き出すと、ガスは高度な1/2インチ・サイズのシステムを通してチャンバー外部の大気に排出されます。このシステムにも Swagelok チューブ継手が使用されています。チャンバー壁の外部では1インチ・サイズのシステムにより背圧の危険がなくなります。

スウェージロック製品をよく理解している Janco 氏は、自社の設置担当者に自らトレーニングを実施しています。彼は、1 1/4回転させるだけで漏れないにもかかわらず、できるだけきつく継手を締め付けようとする設置担当者の意識を変えることが最大の課題であると述べています。スウェージロック製品への思い入れを聞かれると、Janco 氏は「私の生活はスウェージロック製品に支えられています。それだけのことです」と語りました。